

2024年12月吉日

文部科学大臣 あべ 俊子様
内閣府特命担当大臣(こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画、共生・共助)
三原 じゅん子様

エホバの証人問題支援弁護団
(文責:田畑淳、中村大介、山崎創生)

要望書

拝啓、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当弁護団では、12月1日に一般社団法人日本子ども虐待防止学会主催「第30回学術集会
かがわ大会」において宗教虐待に関する支援現場での課題について発表を行いました(以下、添
付資料参照)。この発表内容に基づき、貴省庁においてなんらかの改善を検討いただきたく存じま
す。以下の通り要望させていただきます。

発表内容(添付資料)

「-宗教の信仰等を理由とした児童虐待- 支援者としてどう対応するべきか」

<https://jw-issue-support.jp/news/20241201/>

敬具

背景

2022年12月27日に厚生労働省様(現子ども家庭庁様)が「宗教の信仰等に関する児童虐待等への対応に関するQ&A(以下「宗教虐待 Q&A」と言います)」を発出されました。宗教虐待 Q&A は宗教二世を救う画期的な内容であり、被害を防止する上で極めて重要だと考えております。一方、「宗教虐待」とされる行為が多種多様であり、相互に関連性があるものの全体像の把握が困難であること等から、保護現場での活用しやすさを改善する余地があると思われま

現状

1. 子ども家庭庁様による調査「保護者による宗教の信仰等に起因する児童虐待に関する調査研究報告書 令和5年度 子ども・子育て支援等推進調査研究事業」で、自治体に宗教虐待 Q&A の周知状況を調査したところ、約81%が「周知していない」と回答しました。個々の支援者は自助努力で宗教虐待 Q&A の存在を知っていると思われま
2. 「学校・教育委員会等向け 虐待対応の手引き 文部科学省 令和2年6月改訂版(以下、「学校向け手引き」と言います)」は学校で虐待と疑わしき事案に対応するのに重要なガイドラインとして利用されていると思われま
3. 「児童虐待に係る児童相談所と市町村の共通リスクアセスメントツールについて 厚生労働省 平成29年3月31日(以下、「児相・市町村リスクアセスメントツール」と言います)」は、虐待と疑わしき事案に対応するのに重要なガイドラインとして利用されていると思われま

ご要望

1. 文部科学省様へのご要望

子ども家庭庁様と協議の上で、学校向け手引きなどの学校や教育委員会でよく利用されるガイドラインに宗教虐待 Q&A を反映していただき、広く支援者や支援現場で利用可能にしていただくことを要望させていただきます。

2. 子ども家庭庁様へのご要望

文部科学省様と協議の上で、児相・市町村リスクアセスメントツールなどの支援現場でよく利用されるガイドラインに宗教虐待 Q&A を反映していただき、広く支援者や支援現場で利用可能にしていただくことを要望させていただきます。

以上